

教科の中での資質・能力の育成

(国語科の事例)

- ◇学年 第2学年
- ◇題材名 音楽の鑑賞文を書こう
- ◇題材の目標

- 昨年度行った絵画の鑑賞文の学習内容を音楽の鑑賞文に応用する。
- 「自分達で新たに観点を考えそれに沿って書く」「レベルアップした表現の工夫をする」を新たな目標として『芸北の空』（芸北の小学校・中学校，高校生全員が歌える芸北学園のテーマソング）の魅力を伝える鑑賞文を書く。
- 国語科の学習をもとに音楽科の観点に沿って『フーガト短調』の鑑賞文に取り組む。

時	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽科の先生の「今度音楽科で『フーガト短調』の鑑賞文を書くが、何か良い書き方があるか」という投げかけに答えよう。 ○ 「鑑賞文をどう書いたらいいか」昨年度学習した「絵画の鑑賞文」の内容を思い出す。 ○ 「鑑賞文の目的」「どんな観点を立てたか」「どんな根拠をもとに書いたか」出し合い、まとめる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絵画の鑑賞文」の書き方を応用し、「音楽の鑑賞文」の観点を考える。 ○ 自分達の考えた観点に沿って『芸北の空』の魅力を伝える鑑賞文を考える。 ○ 観点に沿って、具体的な特徴（根拠）や感じたこと・想像したことをワークシートに書き出し、グループで交流する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートをもとに鑑賞文を書いてみる。 ○ 自分達で考えた「新しい観点」で書くことと合わせて、去年よりレベルアップした表現の工夫をすることを目標にさせる。（直喩法や今までに使ったことがない感動の言葉を使ってみる等） ○ グループで鑑賞文を読み合い、工夫した表現をお互い評価し合い、全体で発表する。 ○ 交流し合ったことをもとに自分の表現をさらに工夫し、鑑賞文を完成させる。 ○ 自分がチャレンジした表現の工夫についてまとめる。
※	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科で取り組んだ鑑賞文の学習をもとに、音楽科で『フーガト短調』の鑑賞文に取り組む。

繰り返し体験



課題解決力

◇本時の目標

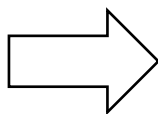
新しい観点に沿ってレベルアップした表現を工夫して音楽の鑑賞文を書く。

◇学習の流れ（3時間目／全3時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇）	評価規準 (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>◆「努力を要する」状況と生徒への指導の手立て</p> <p>◇「新しい観点」「レベルアップした表現（直喩法や今までに使ったことがない感動の表現）の工夫」を目標にさせる。</p>	
<p>新しい観点に沿ってレベルアップした表現（直喩法や今までに使ったことがない感動の表現）を工夫して音楽の鑑賞文を書こう。</p>		
<p>3 ワークシートをもとに鑑賞文を書いてみる。</p> <p>4 グループで鑑賞文を読み合い、評価し合う。</p> <p>5 評価し合ったことをもとに手直しし、鑑賞文を完成させる。</p> <p>6 本時のまとめを行う。</p>	<p>◇直喩法や今まで使ったことがない感動を表す言葉を使っている生徒の文章を紹介し参考にさせる。</p> <p>◆「感動を表す言葉プリント」を参考にさせる。</p> <p>◇グループで特に工夫している表現を選ばせ、発表し合う。</p> <p>◇発表をもとに「表現の工夫」の良さを具体的に評価し、「工夫してみよう」という意欲につなぐ。</p> <p>◇鑑賞文は後日文集にして配布する。</p> <p>◇ワークシートに記入させる。</p>	<p>【課題解決力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい観点でレベルアップした表現の工夫ができたか。（ワークシート） （鑑賞文）
<p>生徒のまとめ例</p> <p>「メロディー」を聞いた時のゆったりした気持ちを「優しく風に包み込まれるように」と直喩法を使って書けた。「歌詞」から浮かぶ芸北の四季の様子を「一面の緑や雲一つない青色の空が浮かんできます」と色を意識して目に見えるように表現できた。</p>		
<p>7 次時の予定を伝える。</p>	<p>◇今回の学習をもとにして、次は音楽の授業で『フーガト短調』の鑑賞文を書くことを伝える。</p>	

芸北中学校の授業スタイル（繰り返し体験）と資質能力（課題解決力）の育成

繰り返し体験



課題解決力

反復
応用
新しい課題へのチャレンジ

絵画から音楽の鑑賞文への応用



（生徒の文章から）

○メロディーはゆったりなめらかで覚えやすい。歌詞は四季が書いてあり景色が浮かぶ。

『芸北の空』の鑑賞文

**新たな観点を立てる（メロディー・歌詞）
表現の工夫**



（生徒の文章から）

○メロディーはゆっくりで、小さな子どもでも覚えることができる簡単なメロディーで構成されています。歌詞は、一つ一つ芸北のことが表されていて、目を閉じると山の木々のざわめきや川のザーッという流れなど多種類の音が奏であっています。この曲は、芸北の良い所を詰め込んでいる、僕達にとってとても大切な曲です。

『フーガト短調』の鑑賞文

音楽科で鑑賞するための観点

（生徒の文章から）

○この曲は、初めは優しく音色が軽いですが、少しずつメロディーが自分にぶつかってきているように、音が重々しくなってきました。この曲にのめりこんでいってしまいました。この曲を聞いていると、バッハがどのような思いでこの曲を作っていたのかが分かりました。この曲は、構成がきれいに作られ聞いている人が不思議と吸い込まれてしまいます。